

授業科目	言語学Ⅱ（文法・意味・社会言語学）				
担当者	松井理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

日本語の文字・形態素・文法、意味の性質について詳細な解説を行います。

■ 到達目標

日本語の形態現象・文法・意味について習熟し、各種言語障害を分析・理解する基礎的能力の涵養を目指します。

■ 授業計画

- 第1回 言語における基本的性質の復習
- 第2回 意味論の基礎
- 第3回 格助詞の機能
- 第4回 自動詞と他動詞の項構造
- 第5回 テンスとアスペクト
- 第6回 ヴォイスとモダリティ
- 第7回 音声の基本的性質
- 第8回 発声と調音位置・調音方法
- 第9回 動詞後続形態素の性質
- 第10回 発音記号の考え方
- 第11回 日本語母音の性質
- 第12回 日本語子音音素の変異
- 第13回 撥音と促音
- 第14回 日本語のアクセント
- 第15回 日本語のイントネーション

■ 評価方法

学期末のテストによって成績評価を行います。マークシート方式の試験での評価が100%となります。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は90分程度が必要です。また、復習時間は個人の理解度によりませんが、1時間程度必要になるでしょう。

■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための基礎知識「音声学・言語学」第2版
 著者名：今泉敏（編）
 出版社：医学書院

■ 参考図書

書 名：日本語音声学入門
 著者名：斎藤純男
 出版社：三省堂

■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。